キャプチャボード

GV-BCTV7

取扱説明書

株式会社アイ・オー・データ機器

145390-01

もくじ

お読みになる前に

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

呼び方

呼び方	意　味
本製品	GV-BCTV7
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System, Microsoft® Windows® XP Professional Operating System
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System

※ 本書内のOSは、全て日本語版を指します。

マークの説明

注意
本製品を使う上で、注意するべきことが書かれています。

参考
本製品を使う上で、役に立つことが書かれています。

必ずお守りください

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

This product is for use only in Japan.　We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

警告および注意事項

警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）　「発火注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）　「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）　「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

本製品を修理・改造・分解しないでください。

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
修理は弊社修理センターにご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。

本製品を取り付ける場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因になります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因になります。

本製品の取り付け・取り外し・移動の際は、パソコン・周辺機器の電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。

電源コードを AC コンセントに差したまま行うと、感電および故障の原因となります。

本体を濡らさないでください。

火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。

濡れた手で本製品を扱わないでください。

感電や、本製品の故障の原因となります。

⚠ 注意

注意

本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

定期的にバックアップをお取りください。

禁止

本製品は以下のような場所で保管･使用しないでください。

故障の原因になることがあります。

●振動や衝撃の加わる場所
●直射日光のあたる場所
●湿気やホコリが多い場所
●温度差の激しい場所
●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
●強い磁力電波の発生する物の近く
（磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
●水気の多い場所（台所、浴室など）
●傾いた場所
●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_xなど）
●静電気の影響の強い場所

禁止

本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。

●落としたり、衝撃を加えない
●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
●重いものを上にのせない
●本製品のそばで飲食・喫煙などをしない
●本製品内部およびコネクタ部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。

厳守

本製品のコネクタ･基板部分には触れないでください。

基板部分は、とがっている場合があります。誤って触れるとけがの原因となります。
また、コネクタ・基板部分に触れると静電気により、本製品が破壊されるおそれがあります。

厳守

本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。

●洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
●ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
●市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因となります。

禁止

本製品を結露させたまま使わないでください。

時間をおいて、結露がなくなってからお使いください。
本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、表面・内部が結露する場合があります。
そのまま使うと誤動作や故障の原因となる場合があります。

厳守

動作中にケーブルを激しく動かさないでください。

接触不良およびそれによるデータ破壊などの原因となることがあります。

使用上のご注意

●ケーブルは、コネクタを持って取り外す

ケーブルを取り外すときは、ケーブル部分ではなく、コネクタを持って取り外してください。

●ラジオやテレビジョン受信機に近接して使用しない

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI

はじめに

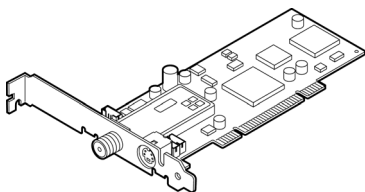
箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。

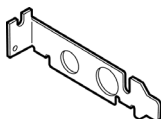
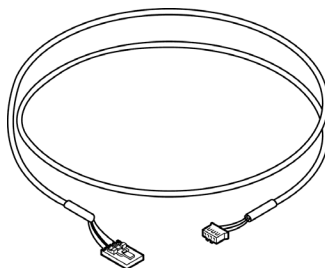
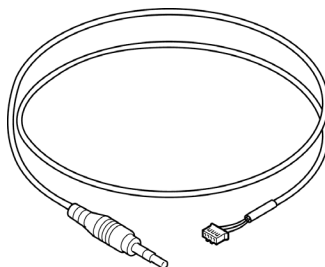
□にチェックをつけながら、ご確認ください。

万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

□ **キャプチャボード(1枚)**
［GV-BCTV7］

□ **AVケーブル(1本：約29cm)**

□ **ロープロファイル用金具(1個)**

□ **Sビデオ変換アダプタ※(1個)**

※ 本製品以外ではご利用になれません。

□ **内部接続用音声ケーブル**
(1本：約45cm)

□ **外部接続用音声ケーブル**
(1本：約40cm)

☐ **GV-BCTV7サポートソフト(1枚)** [CD-ROM]

- ・GV-BCTV7ドライバ
- ・DigiOnTVR L.E. for I-O DATA
- ・reserMail
- ・XVD encoder plus 機能制限版
- ・Windows Media Video 9 VCM
- ・DigiOnTVR for I-O DATA ユーザーズガイド
- ・Adobe Reader 6.0

☑ **GV-BCTV7 取扱説明書（1冊）** [本書]

☐ **ハードウェア保証書(1枚)**

シリアル番号をメモしてください

▼ここにシリアル番号をメモしてください。

※ シリアル番号は、本製品に貼られているシールにある12桁の英数字（例：ABC1234567ZX）です。
シリアル番号は、ユーザー登録・ダウンロードの際に必要です。

●ユーザー登録 ⇒ http://www.iodata.jp/regist/

●ダウンロード ⇒ http://www.iodata.jp/lib/

箱・梱包材は
大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

イラストについて
実物と若干異なる場合があります。

DigiOnTVR, reserMail, XVD encoder plus, Windows Media Video 9 VCMについて
【サービス品のソフトウェア】(43ページ)をご覧ください。

動作環境

本製品を使うことのできるパソコン環境を説明します。

対応機種および対応 OS

対応機種	NEC PC98-NXシリーズ，DOS/Vマシン※1
対応OS	Windows XP※2，Windows 2000
CPU※3	Intel Celeron 600MHz以上，Pentium Ⅲ 500MHz以上，Pentium 4（Pentium 4 1.8GHz以上を推奨※4） AMD Athlon 600MHz以上，Duron
メモリ	128Mバイト以上（256Mバイト以上を推奨※4）
ハードディスク	100Mバイト以上の空き容量※5※6 （NTFSファイルシステム推奨※4）
Windowsグラフィックアクセラレータ※7	解像度：1024×768ドット以上 画面の色：16ビットハイカラー以上
サウンド	48kHzステレオ再生およびDirectSoundに対応したサウンドカードが必要
CD-ROMドライブ	インストール時に必要
PCIバススロット	PCI Rev.2.2以降のPCIバススロットが１つ必要
インターネット接続環境	EPGを利用して録画予約を行う場合、必要

※1　弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認をしています。
※2　「ユーザーの切り替え」には対応しておりません。「ユーザーの切り替え」を行う場合は、あらかじめ本製品に添付のソフトウェアを全て終了させてください。
※3　ご利用の機能によっては、さらに高速な環境が必要となる場合があります。
※4　MPEG-2形式でのキャプチャ、メディアへのリアルタイム録画、タイムシフト再生を行う場合は、これらの推奨環境以上でお使いください。
※5　7200rpm以上のハードディスクを推奨します。
※6　録画保存用には、別途空き容量が必要です。
また、DVD書き込みには最大約10Gバイトの空き容量が必要となります。
※7　種類やVRAMの容量によって表示条件(解像度、色数、リフレッシュレートなど)が制限される場合があります。

他のキャプチャ製品との併用はできません

他のキャプチャ製品をお使いの場合、あらかじめ全て取り外し、それらの製品をアンインストールしてください。

DVD-R/RW, DVD+R/RW, DVD-RAMドライブ

DigiOnTVRでDVDに書き込む場合は、DVD-R/RW, DVD+R/RW, DVD-RAMドライブが必要です。
対応するドライブについては、下記のWebサイトをご覧ください。

http://www.digion.com/pro/dr_main.htm

**本項条件に適合するすべての環境にて動作保証するものではありません。
また、本項条件に適合する環境であっても、グラフィックアクセラレータやハードディスクなどの性能により、コマ落ち等が発生する場合があります。**

接続できる映像機器

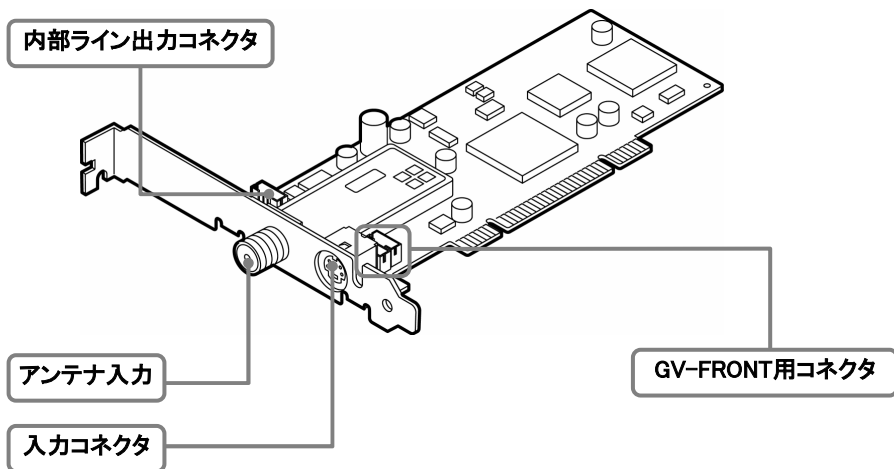
接続する映像機器は映像（ビデオ）出力端子のあるものをご用意ください。
また、本製品との接続のためにはコンポジットケーブルまたはSビデオケーブルが必要です。電化製品販売店などでお求めください。

・ピンプラグ形状の映像出力端子を持つ映像機器
・Sビデオの映像出力端子を持つ映像機器

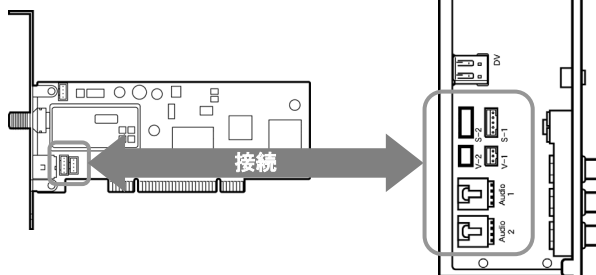
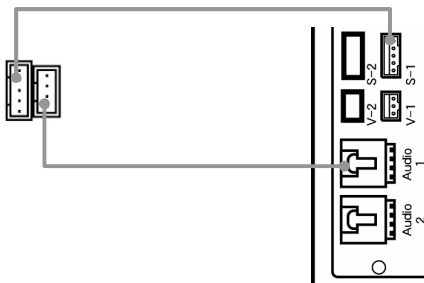
映像機器との接続について
「Sビデオケーブル」と「コンポジットケーブル」では、「Sビデオケーブル」を使って接続した方がはっきりと表示されます。

・一部のビデオ機器・ゲーム機の映像は正しく表示されない場合があります
・著作権保護機能が入っている映像（DVDソフトなど）は録画できません
・実際の入力映像より、数秒遅れて表示される場合があります
あらかじめご了承ください。

各部の名称・機能

コネクタなどの名前と機能を説明します。

内部ライン出力コネクタ	添付の「内部接続用音声ケーブル」または「外部接続用音声ケーブル」でサウンドカードの入力コネクタと接続します。
アンテナ入力	アンテナ線（地上波、CATV）を接続します。
入力コネクタ	映像機器からの映像・音声を入力します。 添付のAVケーブルを接続します。
GV-FRONT用コネクタ	弊社製フロントアクセスユニット「GV-FRONT」(別売)と接続します。 ※接続方法は、次ページの参考をご覧ください。

GV-FRONTとの接続

●接続個所

●接続

GV-FRONTと接続するケーブルについて

GV-FRONTに添付されています。

ケーブルが不足する場合は、別途ご用意ください。

GV-FRONTと接続した場合、本製品に映像機器を直接接続しない

GV-FRONTと本製品の両方に映像機器を接続しないでください。

使えるようにしよう

ドライバをインストールしよう

ドライバのインストールをします。

Windowsにログオンするときは
コンピュータの管理者(Administrators)グループに属するユーザーでログオンしてください。

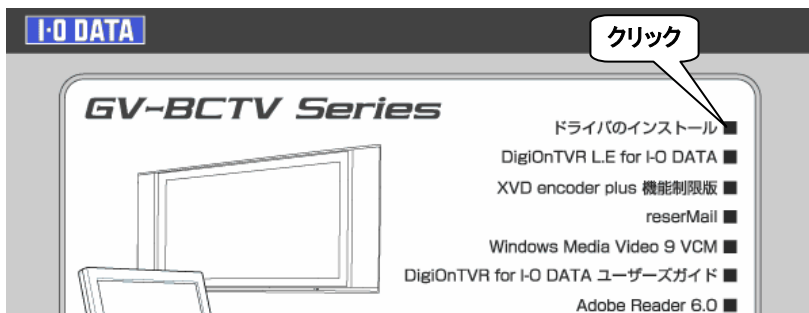
まだ本製品を接続しないでください
【取り付けよう】(19ページ)で接続します。

1 サポートソフトを挿入します。

GV-BCTV7サポートソフトをCD-ROMドライブに挿入します。
⇒メニューが表示されます。

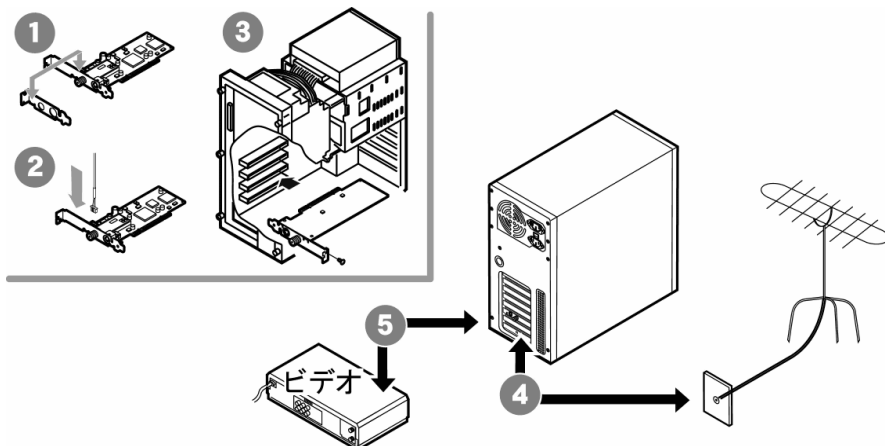
メニューが表示されない
①「マイコンピュータ」を開きます。
②［GVBCTV］→［setup］の順にダブルクリックします。
⇒メニューが表示されます。

2 [ドライバのインストール]をクリックします。

⇒インストール画面が表示されます。
画面の指示に従ってインストールしてください。

インストール後、Windowsを終了します
パソコンの電源を切る前に、サポートソフトを取り出してください。

ドライバはインストールされました。

取り付けよう

本製品を接続する手順を説明します。

シリアル番号はメモしましたか？
シリアル番号は、本製品に貼られているシールに記載されています。
本製品を取り付ける前に、必ず【シリアル番号をメモしてください】(11ページ)にメモしてください。

作業する前に
本製品には「アンテナケーブル」、「ビデオ（Sビデオ）ケーブル」や「オーディオケーブル」は添付されておりません。
あらかじめ、別途ご用意ください。

映像機器について
本製品には、映像機器に対して入力を持っています。
映像機器は、本製品に映像を入力するための機器(ビデオデッキなど)を指します。

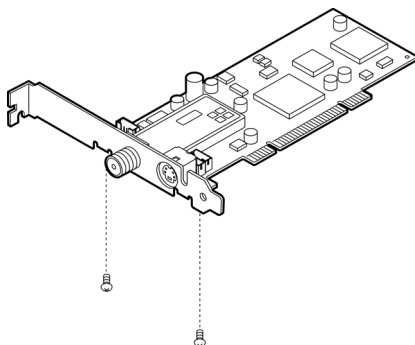
映像機器との接続について
「Sビデオケーブル」と「コンポジットケーブル」では、「Sビデオケーブル」を使って接続した方がはっきりと表示されます。

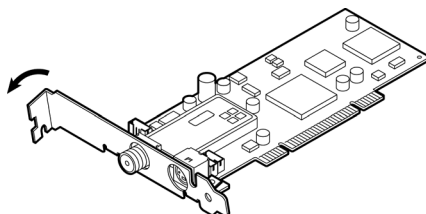
一部のビデオ機器・ゲーム機の映像は正しく表示されない場合があります
あらかじめご了承ください。

金具の取り替え

ロープロファイルPCIバススロットに本製品を取り付ける場合は、金具の取り替えが必要です。
その場合は、下の作業を行ってください。

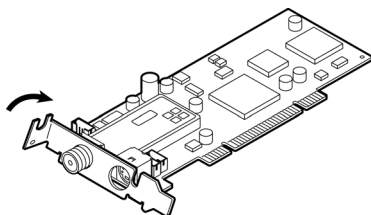
普通のPCIバススロットに本製品を取り付ける場合
この作業は必要ありません。23ページへ進んでください。

1 本製品の金具のネジを取り外します。

2 金具を基板面から浮かすようにして取り外します。

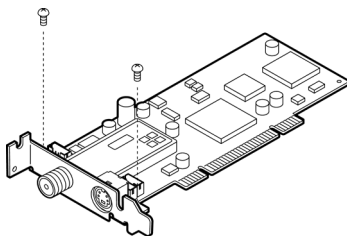
ネジ穴のある部分が基板面をひっかかないように、傾けて取り外します。

取り外した金具
取り外した金具は使いません。無くさないように保管してください。

3 金具を基板面から浮かすようにして取り付けます。

ロープロファイル対応金具のネジ穴がある部分が基板面をひっかかないように、傾けて取り付けます。

※ ネジ穴のある部分が、基板の裏（大きな部品が付いていない側）にくることにご注意ください。

4 ロープロファイル対応金具をネジで固定します。

固定するときは、手順 *1* で取り外したネジを使います。

※ ネジは、基板の表（大きな部品が付いている側）から入れることにご注意ください。

取り外した金具に戻す場合

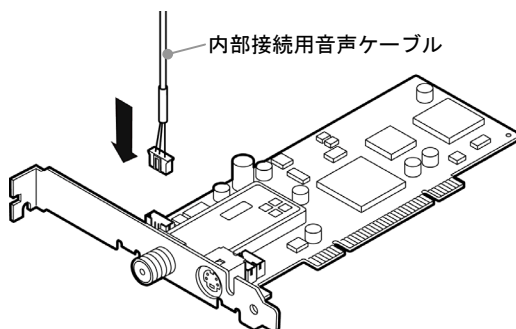
本作業を読み替えて行ってください。

作業の際は、「ネジ穴のある部分の位置」と「ネジの向き」にご注意ください。

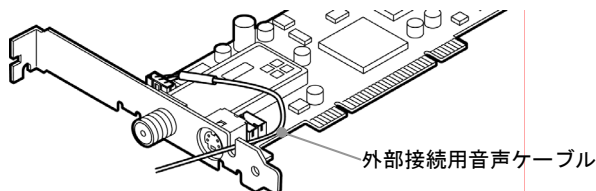
2 音声ケーブルの接続

● 本製品に添付の音声ケーブルを接続します。

「内部接続用音声ケーブル」を接続します。

このケーブルは、後の手順でサウンドカードの内部入力コネクタと接続します。

サウンドカードの内部入力コネクタがふさがっている、どこにあるか分からない

「外部接続用音声ケーブル」を接続することで、サウンドカードの外部入力コネクタと接続することができます。

その場合、本製品をパソコンに取り付ける前に「外部接続用音声ケーブル」を金具の切り欠きに通してください。

3 パソコンへの取り付け

1 パソコンの周辺機器およびパソコンの電源を切ります。

2 パソコンの電源ケーブルを電源コンセントから抜きます。

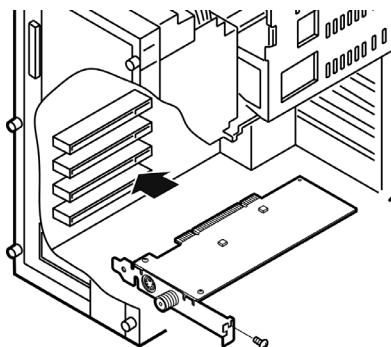
3 パソコンのカバーを取り外します。

方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

4 PCIバススロットのカバーを取り外します。

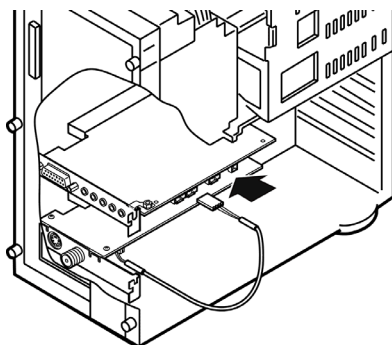
5 本製品を取り付けます。

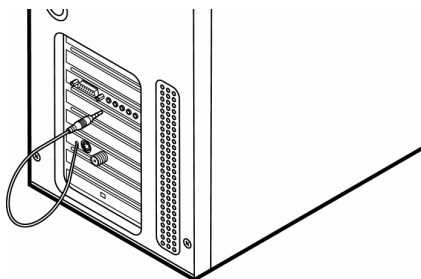
・本製品がPCIバススロットに正しく差し込まれたことをご確認ください。

・パソコンによって取り付け位置が異なります。
　詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

本製品に接続したケーブルをはさみこまないようにご注意ください
　ケーブルを傷つけると、火災、感電、音質低下などのおそれがあります。

6 本製品をネジで固定します。

ネジはPCIバススロットカバーのものをお使いください。

7 サウンドカードの入力コネクタに音声ケーブルを接続します。

「外部接続用音声ケーブル」を接続した場合

【音声ケーブルの接続】（22ページ）で「外部接続用音声ケーブル」を接続した場合は、本製品を接続時に外に出した「外部接続用音声ケーブル」をサウンドカードの外部入力コネクタと接続します。

接続したサウンドカードの入力コネクタ名は後の設定で必要です

サウンドカードの取扱説明書などをご覧になり、接続したサウンドカードの入力コネクタ名をメモしておいてください。

▼入力コネクタ名

8 パソコンのカバーを元に戻します。

アンテナとの接続

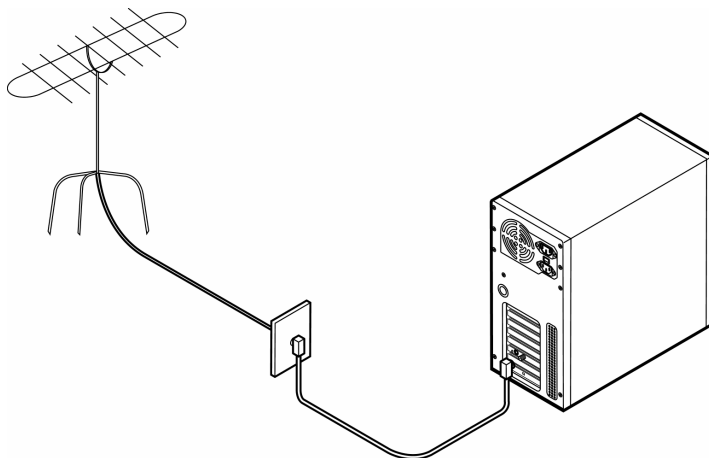
テレビを受信しない方へ

ここの作業は、本製品でテレビ番組を受信する方のみ必要です。
外部入力のみお使いになる場合は、アンテナとの接続は必要ありません。

外部アンテナに接続されたアンテナ線をお使いください

室内アンテナや共同アンテナでは電波がきれいに受信できない場合があります。

●テレビアンテナと接続する

本製品の「アンテナ入力」に「アンテナ線」を接続します。

BSデジタル放送／衛星放送は受信できません

ご了承ください。

CATVの場合、専用チューナーへの接続を必要とする場合があります

専用チューナー（セットトップボックス）がある場合は、次ページの接続方法をご覧ください。

●ケーブルテレビの専用チューナーと接続する

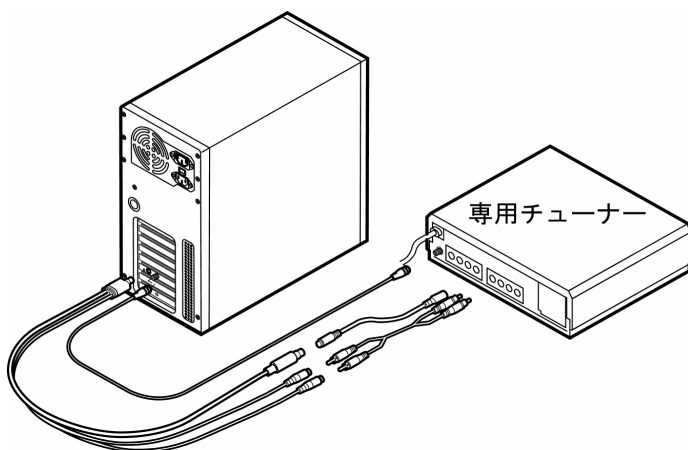
この場合、映像機器は接続できません
映像機器を接続したい場合は、専用チューナーを取り外してください。

1 本製品と専用チューナーを「アンテナケーブル」で接続します。

本製品の「アンテナ入力」と専用チューナーの「ケーブル出力」を「アンテナケーブル」で接続します。

2 本製品の入力コネクタにAVケーブルを接続します。

3 専用チューナーとAVケーブルを接続します。

・専用チューナーの「音声出力」とAVケーブルの「音声入力」を「オーディオケーブル」で接続します。
・専用チューナーの「Sビデオ出力」とAVケーブルの「Sビデオ入力」を「Sビデオケーブル」で接続します。

Sビデオで接続できない場合

AVケーブルの「Sビデオ入力」に「Sビデオ変換アダプタ」を接続することで、そこに「コンポジットケーブル」を接続することもできます。
ただし、「Sビデオケーブル」を使って接続した方がはっきりと表示されます。

この方法で接続した場合

・ケーブルテレビを見るには、専用チューナーを接続した外部入力を表示する必要があります。
・ケーブルテレビのチャンネルはチューナー側で変更してください。
DigiOnTVR L.E. for I-O DATAのチャンネル操作でケーブルテレビのチャンネルを指定することはできません。

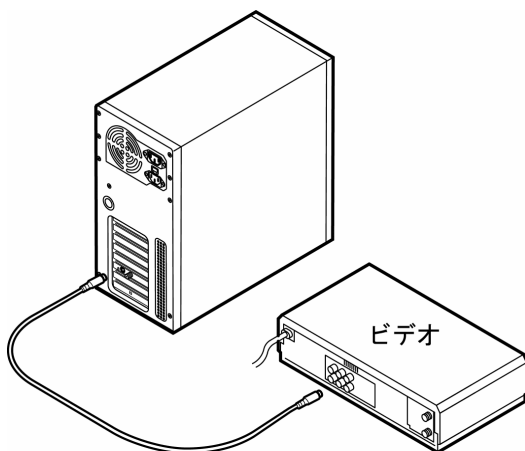
映像機器との接続

映像機器からの映像を入力しない方へ
ここの作業は、本製品に映像を入力する方のみ必要です。
映像を入力しない場合は、映像機器との接続は必要ありません。

●音声を入力しない

1 映像機器にケーブルを接続します。

「Sビデオ出力」に「Sビデオケーブル」を接続します。

2 本製品の入力コネクタに、Sビデオケーブルを接続します。

Sビデオで接続できない場合
本製品の「入力コネクタ」に「Sビデオ変換アダプタ」を接続することで、そこに「コンポジットケーブル」を接続することもできます。
ただし、「Sビデオケーブル」を使って接続した方がはっきりと表示されます。

本製品の取り付け作業は完了しました。

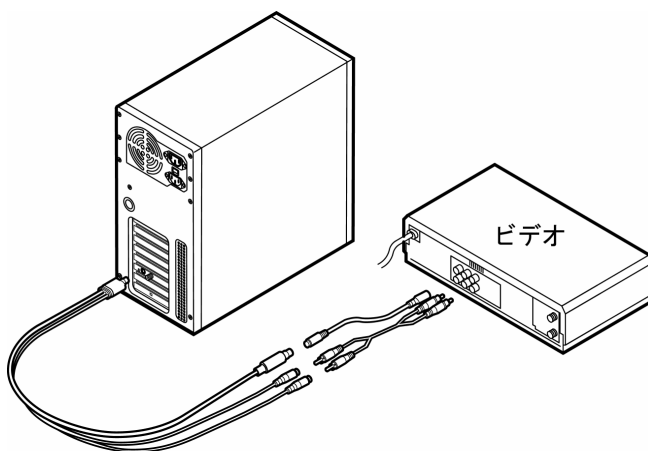
●音声を入力する

1 映像機器にケーブルを接続します。

・「音声出力」に「オーディオケーブル」を接続します。
・「Sビデオ出力」に「Sビデオケーブル」を接続します。

2 本製品の入力コネクタにAVケーブルを接続します。

3 映像機器とAVケーブルを接続します。

・「音声出力」と「音声入力」を「オーディオケーブル」で接続します。
・「Sビデオ出力」と「Sビデオ入力」を「Sビデオケーブル」で接続します。

Sビデオで接続できない場合

AVケーブルの「Sビデオ入力」に「Sビデオ変換アダプタ」を接続することで、そこに「コンポジットケーブル」を接続することもできます。ただし、「Sビデオケーブル」を使って接続した方がはっきりと表示されます。

本製品の取り付け作業は完了しました。

認識させよう

本製品をWindows上で使えるようにする手順を案内します。

Windowsにログオンするときは
コンピュータの管理者(Administrators)グループに属するユーザーでログオンしてください。

1 サポートソフトが取り出されていることを確認します。

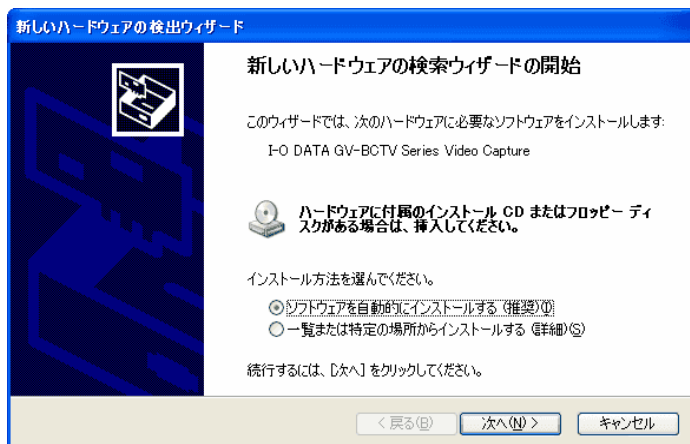
サポートソフトがCD-ROMドライブに挿入されている場合は、取り出してください。

2 Windowsを起動します。

⇒本製品がWindowsに認識され、認識画面が表示されます。

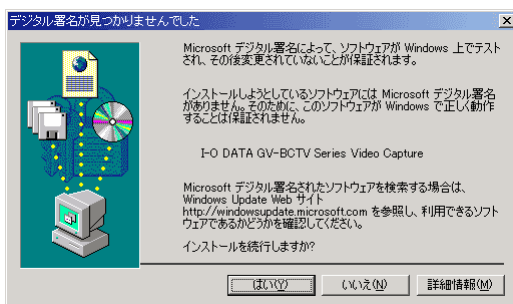
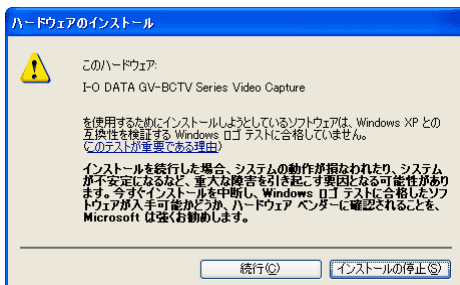
3 認識画面の指示に従います。

下の３つドライバを認識させます。
そのため、同じような画面が3回出てくることとなります。

[I-O DATA GV-BCTV Series Video Capture]
[I-O DATA GV-BCTV Series Crossbar]
[I-O DATA GV-BCTV Series Tuner]

下のような画面が表示されます

［続行］ボタンまたは［はい］ボタンをクリックしてください。

⇒インストールが続行されます。

これは、マイクロソフト株式会社がWHQLという組織において、パソコンや周辺機器などを対象に認定手続きを実施しているものです。
本製品は、認定を受けておりませんが、問題なくお使いいただけます。

確認しよう

本製品を正しく使える状態になっているかを確認します。

1 「システムのプロパティ」を開きます。

Windows XPの場合

①［スタート］→［マイコンピュータ］の順にクリックします。
②［システム情報を表示する］をクリックします。

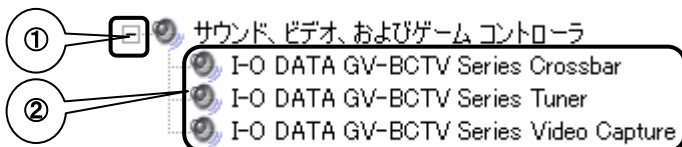
Windows 2000の場合

［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

2 「デバイスマネージャ」を開きます。

①［ハードウェア］タブをクリックします。
②［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。

3 本製品を確認します。

① ［サウンド、ビデオ、およびゲーム(の)コントローラ］の左にある⊞をクリックします。
⇒その下が表示されます。
② 本製品のドライバを確認します。

本製品のドライバがない
【本製品のドライバが表示されない】(45ページ)

4 「デバイスマネージャ」を閉じます。

画面右上にある ☒ をクリックします。

確認作業は完了しました。

ソフトウェアをインストールしよう

ソフトウェアのインストールをします。

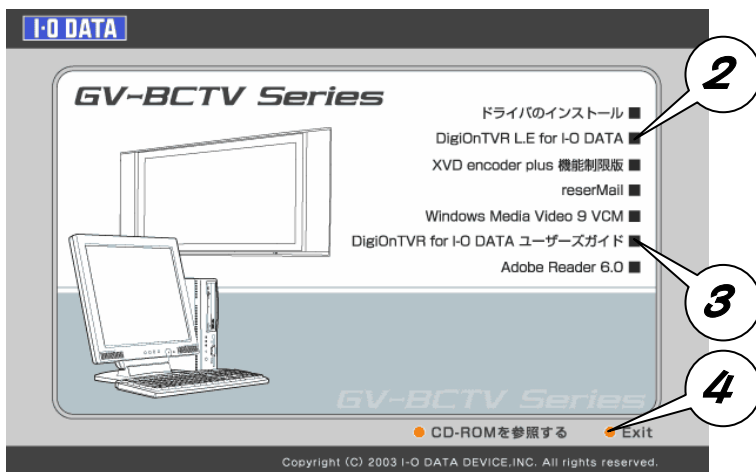
Windowsにログオンするときは
コンピュータの管理者(Administrators)グループに属するユーザーでログオンしてください。

1 サポートソフトを挿入します。

GV-BCTV7サポートソフトをCD-ROMドライブに挿入します。
⇒メニューが表示されます。

メニューが表示されない
①「マイコンピュータ」を開きます。
②［GVBCTV］→［setup］の順にダブルクリックします。
⇒メニューが表示されます。

2 [DigiOnTVR L.E. for I-O DATA]をクリックします。

⇒「DigiOnTVR L.E.」のインストールが始まります。
画面の指示に従ってインストールしてください。

インストール後、Windowsが再起動される場合があります
再起動された場合、再起動後にもう一度メニューを表示して、続きを行ってください。

3 [DigiOnTVR for I-O DATA ユーザーズガイド]をクリックします。

⇒「DigiOnTVR for I-O DATA ユーザーズガイド」のインストールが始まります。
画面の指示に従ってインストールしてください。

他のソフトウェア
インストールする場合は、各ソフトウェア名をクリックしてください。
あとは、画面の指示に従ってください。
各ソフトウェアについては、43ページをご覧ください。

4 [EXIT]をクリックします。

5 サポートソフトを取り出します。

ソフトウェアはインストールされました。

DigiOnTVRを使おう

DigiOnTVRのサポート

DigiOnTVRは、サービス品につき弊社ではサポート致しかねます。
株式会社デジオンにお問い合わせください。

【DigiOnTVRについて】(50ページ)

DigiOnTVRを起動する

DigiOnTVRを起動する方法を説明します。

DigiOnTVRを使うときは

コンピュータの管理者(Administrators)グループに属するユーザーでWindowsにログオンしてください。

起動方法

デスクトップにある[DigiOnTVR]アイコンをダブルクリックします。

デスクトップに[DigiOnTVR]アイコンが無い場合

インストール時の設定によっては、アイコンは作られません。
その場合は、［スタート］ボタンから［（すべての）プログラム］→［DigiOn］→［DigiOnTVR L.E.］→［DigiOnTVR L.E.］の順にクリックしてください。

初めて起動する場合、設定画面が自動的に表示されます

【DigiOnTVRの初期設定をしよう】(次ページ)をご覧ください。

DigiOnTVRの初期設定をしよう

DigiOnTVRの初期設定をします。

作業をする前にアンテナを確認してください
正しい設定のために必要です。

1 チャンネルを設定します。

①「地域」で、現在の都道府県および地域を設定します。
②「チャンネル」内のチャンネルが問題ないことを確認します。
③［OK］ボタンをクリックします。
⇒キャプチャデバイス画面が表示されます。

テレビを受信しない／アンテナを接続していない方へ
この画面は表示されません。次の手順へお進みください。

オートスキャン
［開始］ボタンをクリックすることで、自動的にチャンネルを検索します。
ケーブルテレビの番組も検索する場合、「スキャン対象」内の［CATV］にもチェックします。
検索されたチャンネルを「チャンネル」のプリセット番号にドラッグ＆ドロップすることで、そのチャンネルを追加できます。

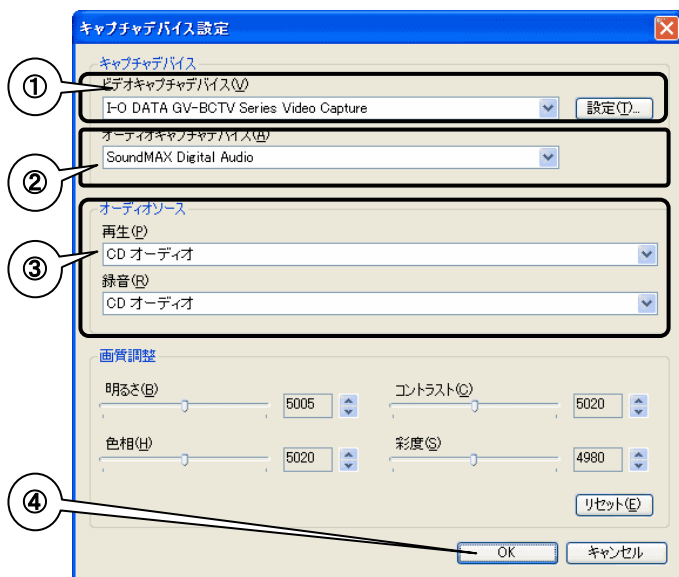
ケーブルテレビ専用チューナーをお使いの場合
ケーブルテレビ専用チューナーをお使いの場合、ケーブルテレビのチャンネルを設定／検索できません。

2 デバイスの設定と確認をします。

①「ビデオキャプチャデバイス」を
「I-O DATA GV-BCTV Series Video Capture」に設定します。

②「オーディオキャプチャデバイス」を設定します。
お使いのサウンドカードを選んでください。

③「オーディオソース」を設定します。
24ページでメモしたサウンドカードの入力コネクタを選択します。
※ 「再生」「録音」は同じ設定にしてください。
※ 通常、「CD オーディオ（内部入力コネクタに接続した場合）」もしくは
「ライン入力（外部入力コネクタに接続した場合）」となります。

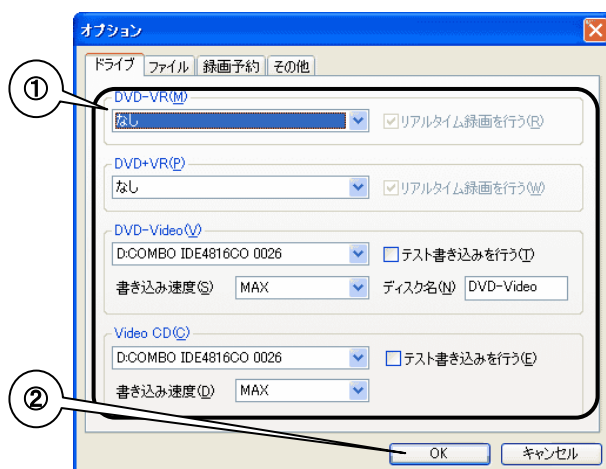
④［OK］ボタンをクリックします。
⇒オプション画面が表示されます。

3 DVD/CDドライブを設定します。

① 各ドライブを設定します。

※ 設定するドライブについては、下の表をご覧ください。

② [OK] ボタンをクリックします。

⇒初期設定は完了です。

DigiOnTVRが起動します。

項目名	説明
DVD-VR	DVD-RAM 方式に対応したドライブを指定します。 このドライブはDVD-VR モードで使います。
DVD+VR	DVD+RW 方式に対応したドライブを指定します。 このドライブはDVD+VR モードで使います。
DVD-Video	CD-R/RW, DVD-R/RW, DVD+R/RW 方式のどれかに対応したドライブを指定します。 このドライブはDVD-Video モードで使います。
Video CD	CD-R/RW 方式に対応したドライブを指定します。 このドライブはVideo CD モードで使います。

DigiOnTVRの初期設定は完了しました。

DigiOnTVRの操作

DigiOnTVRでは、様々な機能を利用できます。
詳しくは、ヘルプやユーザーズガイドにて案内されていますので、そちらをご覧の上、DigiOnTVRをご活用ください。

表示方法

● ヘルプの表示方法

DigiOnTVRのデッキウィンドウ左上にある ボタンをクリックします。

● ユーザーズガイドの表示方法

［スタート］ボタンから［（すべての）プログラム］→［DigiOn］→［DigiOnTVR L.E.］→［DigiOnTVR ユーザーズガイド］の順にクリックしてください。

ユーザーズガイドを表示するにはAdobe (Acrobat) Readerが必要です
インストールされていない場合は、サポートソフトからインストールしてください。

DigiOnTVRのサポート

DigiOnTVRは、サービス品につき弊社ではサポート致しかねます。
株式会社デジオンにお問い合わせください。

【DigiOnTVRについて】（50ページ）

付録

サポートソフトの削除

サポートソフトの削除（アンインストール）方法について説明します。

サービス品のソフトウェアの削除
各ソフトウェアのヘルプやオンラインマニュアルなどをご覧ください。

Windowsにログオンするときは
コンピュータの管理者(Administrators)グループに属するユーザーでログオンしてください。

ドライバの削除

1 サポートソフトを挿入します。

GV-BCTV7サポートソフトをCD-ROMドライブに挿入します。
⇒メニューが表示されます。

メニューが表示されない
①「マイコンピュータ」を開きます。
②［GVBCTV］→［setup］の順にダブルクリックします。
⇒メニューが表示されます。

2 [ドライバのインストール]をクリックします。

⇒インストール画面が表示されますので、［アンインストール］を選んで［OK］ボタンをクリックしてください。
「GV-BCTV7ドライバ」のアンインストールが始まります。

本製品を取り外す場合
アンインストールが終わったら、パソコンの電源を切り、しばらくたってから本製品を取り外してください。

サービス品のソフトウェア

添付されているサービス品のソフトウェアについて説明します。

入っているソフトウェア

● DigiOnTVR L.E. for I-O DATA

テレビを視聴・録画するためのアプリケーションです。
テレビの視聴はもちろん、電子番組表を使った録画予約がかんたんに行えます。
また、録画した番組のCMカットやDVDオーサリングも行えます。

● reserMail

外出先のパソコンや携帯電話（iモード、J-SKY、EZweb）から、自宅のパソコンに録画予約できます。

● XVD encoder plus 機能制限版

MPEG, AVIなどの動画をXVD形式にエンコードするソフトウェアの機能制限版です。
複数のファイルを登録することで連続してエンコードタスクを実行できるほか、エンコードの詳細なパラメータを設定したり、プラグインを利用することができます。

製品版との違いについて

下記の方法で、機能の制限について記載したpdfを見ることができます。

① XVD Encoder plus 機能制限版をインストールします。
② ［スタート］→［(すべての) プログラム］→［B.H.A］→［XVD Encoder plus 機能制限版］→［XVD Encoder plus 機能制限版アップグレードについて］の順にクリックします。

● Windows Media Video 9 VCM

「DigiOnTVR L.E. for I-O DATA」で、AVIファイルコンテナに収められているWindows Media Video 9 コーデックを利用できるようになります。

インストール方法

サポートソフトのCD-ROMを挿入し、インストールメニューを表示します。
あとは、インストールするソフトウェアを選んで画面の指示に従ってください。

サービス品についてお問い合わせ

各ソフトウェアは、サービス品につき弊社ではサポート致しかねます。
それぞれのソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

ソフトウェア	お問い合わせ案内
DigiOnTVR L.E. for I-O DATA	【DigiOnTVRについて】(50ページ)
reserMail	【reserMailについて】(50ページ)
XVD encoder plus 機能制限版	【XVD encoder plusについて】(51ページ)
Windows Media Video 9 VCM	動作保証外となります。

困った時には

DigiOnTVRの操作についての困った時には
【DigiOnTVRの操作】(40ページ)を参考に、ヘルプやユーザーズガイドをご覧ください。

本製品のドライバが表示されない

原因1 接続に問題がある

【取り付けよう】(19ページ)をご覧になり、本製品の接続をご確認ください。

原因2 本製品が正しく認識されていない

① 【確認しよう】の手順*3*(32ページ)をご覧になり、
本製品があるか、「！」マークが付いていないかを確認します。
また、［不明なデバイス］が無いかを確認します。
※ ［その他のデバイス］の下もご覧ください。

② 「！」マークが付いていたり、【不明なデバイス】があった場合は、それを削除します。

③ 【ドライバをインストールしよう】(18ページ)をご覧になり、ドライバをインストールしてください。

DVDに書き込めない

原因1 コンピュータの管理者(Administrator)権限がない

コンピュータの管理者(Administrators)グループに属するユーザーでログオンしてください。

原因2 DigiOnTVRがお使いのDVDドライブに対応していない

対応するドライブについては、下記のWebサイトをご覧ください。

http://www.digion.com/pro/dr_main.htm

音声が聞こえない

原因1　正しく接続されていない

【取り付けよう】(19ページ)をご覧になり、以下をご確認ください。

・本製品とサウンドカードの接続
・本製品と映像機器の接続

原因2　スピーカーがつながっていない

パソコンとスピーカーがつながっているかを確認してください。

原因3　DigiOnTVRの音量が小さく設定されている／ミュートになっている

DigiOnTVRの音量設定が小さくなっていないかご確認ください。

原因4　Windows自体のボリュームが小さい

他のアプリケーションなどで音声を確認してください。
音が聞こえない場合は、Windowsのボリューム(「メイン」「WAVE」)を大きくしてください。

別売オプション品

本製品には、下記のような別売オプション品がございます。
お買い求めの上、本製品と併せてお使いください。

■ GV-MVP/RCkit ～ 本製品をリモコンで操作したい方に ～

DigiOnTVR L.E. for I-O DATAをリモコンで操作することができます。

リモコンの操作について
DigiOnTVRの操作については、ユーザーズガイドをご覧ください。

■ GV-FRONT ～ 映像機器をよく接続する方に ～

本製品の「入力コネクタ」の代わりに「Sビデオ入力」「音声入力」をパソコンの前に移動することができます。
映像機器を切り替えてお使いの方などに便利です。

仕様

TVチューナー	受信可能TVch	VHF: 1～12ch UHF: 13～62ch CATV: C13～C63ch
	TV音声	ステレオ、音声多重出力（EIAJ方式）
	TV-RF入力	F型接栓×1　75Ω
ビデオ入力	NTSCコンポジット	1Vp-p/ 75Ω
	Sビデオ	Y:　1.0Vp-p/ 75Ω C:　0.286Vp-p/ 75Ω
オーディオ入力	NTSCコンポジット	RCAピン(L/R)×1　1Vrms
オーディオ出力	内部オーディオ出力	0.5Vrms（TV音声）
割り込み(IRQ)	Plug&Playによる自動設定（1つ使用）	
メモリマッピング	Plug&Playによる自動設定	
電源	+3.3V ±5%　+5V ±5%　+12V ±5%	
消費電流(MAX)	+3.3V:500mA　+5V:210mA　+12V:360mA	
使用温度範囲	+5～+35℃	
使用湿度範囲	20～80%（結露なきこと）	
サイズ	約65mm(W) × 約158mm(D) × 約18mm(H) （スロットカバーおよび突起部含まず）	
質量	約87g	

お問い合わせ

本製品について

本製品に関するお問い合わせは弊社サポートセンターで受け付けています。

1 まず、弊社ホームページをご確認ください。

本書や活用編の【困った時には】で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、News」などもご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

http://www.iodata.jp/support/ ← **製品Q&A, Newsなど**

また、添付のサポートソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/ ← **弊社サポートライブラリ**

2 それでも解決できない場合は･･･

住所：　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター

電話：　本社…**076-260-3646**　東京…**03-3254-1036**
※受付時間　9:30～19:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

FAX：　本社…**076-260-3360**　東京…**03-3254-9055**

インターネット：　http://www.iodata.jp/support/

お知らせいただく事項について

1. ご使用の弊社製品名。
2. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
3. ご使用のサポートソフトのバージョン。
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態
（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

DigiOnTVRについて

添付の「DigiOnTVR」に関するお問い合わせは株式会社デジオンで受け付けています。

株式会社デジオン　サポートセンター

電話：　092-833-6288
　　　※受付時間　10:00～12:00　13:00～17:00
　　　　月～金曜日（祝祭日および特別休業日を除く）
インターネット：　http://www.digion.com/
E-Mail：　support@digion.com
FAX：　092-833-6278

ユーザー登録について

ユーザーサポートをご利用になるには、事前にユーザー登録が必要です。
DigiOnTVR L.E. for I-O DATAを起動し、［？］ボタンをクリックし、［ユーザー登録］を行ってください。
インターネットからユーザー登録したい場合は、下記サイトにアクセスしてください。

http://www.digion.com/user_reg/index.htm

※ 登録に必要なシリアルナンバーは、［？］ボタンをクリックし、［DigiOnTVR L.E.のバージョン情報］でご覧になれます。

reserMailについて

添付の「reserMail」に関するお問い合わせはADCテクノロジー株式会社で受け付けています。

ADCテクノロジー株式会社　ユーザーサポート係

E-Mail：　support@epoint.co.jp
※ お問い合わせの際は、本製品名もお知らせください。
※ お問い合わせは、E-Mailでのみ受け付けております。

XVD encoder plus について

添付の「XVD encoder plus 機能制限版」に関するお問い合わせは株式会社ビー・エイチ・エーで受け付けています。

株式会社ビー・エイチ・エー　テクニカルサポートセンター

インターネット：　http://www.bha.co.jp/support/madoguti/

※ページ内のオンラインサポートをクリックしてください。

※お問い合わせをいただくには、ユーザー登録を行っていただく必要がございます。

TEL：06-4861-8234

受付時間：月～金曜日　10：00～17：00

土曜日　10：00～12：00、13：00～17：00

（毎月最終土曜日、夏期・年末年始・特定休業日、祝祭日を除く）

FAX：06-6378-3336

※ご回答には、2～3営業日お時間をいただく場合がございます。

修理について

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。

※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。

※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）
修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、シリアル番号（製品に貼付されたシールに記載されています）、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・下の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,
ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は、下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。

※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。

※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
3) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
4) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
6) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
7) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
8) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
9) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
10) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
13) テレビやビデオの映像は著作権法により保護されています。これらの映像は個人で楽しむ以外に利用しないでください。
14) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft, Windows, MS, DirectXは、米国Microsoft Corporationの登録商標です。
- Celeron, Pentiumは、米国インテル社の登録商標です。
- “iEPG”および“iEPG”ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

GV-BCTV7 取扱説明書

2003.11.11 145390-01

発 行　株式会社アイ·オー·データ機器

〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地